

[国 語]

中学校1年生1学期の国語科授業における指導の工夫

- 自己評価カードを中心に位置づけた学習記録の活用 -

池村 和重*

1 主題設定の理由

以下の表は、筆者の勤務校3年間のNRT学力検査（4月上旬実施）結果である。中学1年生から2年生になるときに学力が大幅に低下していることがわかる。3年生時の結果は載せていないが、ほぼ横ばい傾向である。学力低下の原因は生徒指導的側面もあり、必ずしも授業に問題があるとは言えないが、1年時の授業を改善していくことが本校の課題である。特に、中学1年生の1学期は、これからの中学校生活を充実したものにす大切な期間である。1年生の1学期の指導を工夫することで、学力の向上を図っていききたい。本研究は、この課題意識から出発した。

【表1 自校の過去三年間のNRT学力検査結果「1年時と2年時の比較」】

	1年時国語偏差値	2年時国語偏差値	差	1年時4教科と2年時5教科の偏差値の比較	
2005年度入学生	53.0	47.5	-5.5	52.1 → 45.7	-6.4
2006年度入学生	52.9	49.0	-3.9	51.2 → 46.8	-4.4
2007年度入学生	50.1			49.6	

生徒は、よく「国語は、何を勉強するのがわからない。」ということをお口にする。それは、家庭学習だけでなく、授業にも言えることである。益地（2002）は、国語科の学習内容について「国語という教科は守備範囲の広い教科である。それゆえ、学習指導において求められる活動や能力も多様であり、学力の内容として考えられるものも多岐にわたる。」^{*1}としている。中学校に入学して間もない生徒が授業に真剣に取り組むためには、授業に取り組みやすいように学習環境を整え、学習したことの意義を実感させる必要があると考える。

筆者は、梶田叡一（2002）の形成的評価の理論をもとに、単元単位の自己評価カードの中に、事前的評価・形成的評価・総括的评价を位置づけ、自己評価・相互評価・教師評価・保護者評価の欄を設けた。一枚のふり返しカードで単元全体の流れを踏まえた上で、事前的評価から形成的評価までの一連の評価ができるようなふり返しカードを開発し、成果と課題についてまとめた。その成果として、評価カードの形式が一定であるため、学習者にとって評価活動が定着しやすい、という点を挙げた。また、単元全体の流れを把握した評価の必要性、学習の多様性に対応するために、形成的評価をおこなう際の自分の学習をふり返るための判断材料が多い方がよいことがわかった。しかし、開発した単元単位の評価カードでは課題発見的な評価が窮屈になるのではないかと、という課題が残った。

以上の成果と課題を踏まえた上で一定の形式で、短期・中期・長期の自己評価を中心としながら学習記録として蓄積していく。形式を整えることで、国語の授業の流れをつかみ、異なるサイクルの自己評価を積み重ねることで、自分の学習を見つめる習慣をつけ、学習記録を積み重ねていくことで授業に真剣に取り組む生徒を育成できるのではないかと考え、本研究主題を設定した。

2 研究の目的

中学1年生の国語科授業において、自分の授業に対する取組を見つめ、授業を大切にする生徒を育てるために、自己評価カードを中心に位置づけた学習記録の有効な活用について明らかにする。

* 上越市立直江津東中学校

3 研究の構想と実際

- (1) 対象 1年生1クラス(男子16名, 女子19名)
- (2) 時期 2007年4月～7月
- (3) 「自己評価を中心としたふり返しカード」を基本としたファイルの活用

日常の授業で、単元ごとにふり返しと補充学習を行うことは、重点教材を設定すればできないことはないが、ふり返る観点がしっかりしてくるだけに、ふり返しをする時間も多くなるなど、年度を通して行うことは難しく、かえって学習活動の幅を狭めてしまう恐れがある。そこで、授業のふり返しを単元単位を基本とするのではなく、日々のふり返しを短時間でも授業の終わりに位置づけながらも、生徒が目標として一生懸命取り組む定期テストごとのふり返しを中心とする。そして、様々な段階の自己評価を含めて、学期末の自己評価につなげ、長期休業を使って補充学習を行うようにした方が実際的だと考え、以下のように評価の流れを設定した。

【図1 評価の流れ】

- | |
|--|
| <p>① <u>今までの自己評価(事前)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス前に記入する。 ・小学校時代の国語の授業のふり返る。はじめの授業でふり返しカードに記入する。 <p>② <u>授業ごとの自己評価(短期)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、授業の終わりにふり返しカードに記入する。 <p>③ <u>教材ごとの自己評価(短期)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の学習を一通り終えた後、大事なところを整理した穴埋め式のまとめプリントを行う。 ・評価欄はないが、学習の定着度を実感させるために行う。 ・他の自己評価とは異なるため、生徒に対して自己評価の一環であるということを意識させる。 <p>④ <u>定期テストの自己評価(中期)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月後半と6月後半にある定期テストごとに日々の学習のふり返しとともに、定期テスト自己評価カードに記入する。 <p>⑤ <u>学期末の自己評価(長期)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期末にファイルにとじてある学習の集積物を学習内容ごとにとじ直し、ふり返しカードに記入する。 <p>⑥ <u>学期末の評価(長期)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期末の自己評価が終わってから、自分の学習記録を仲間に見せ、コメントをもらう。また、持ち帰り、保護者に見せ、印鑑を押してもらう。 ・教師に提出し、点検を受ける。 |
|--|

③と④については、別にプリントを用意し、じっくり書くように指示を出す。それ以外はすべて図2のふり返しカードに記入していく。

ファイルについては、予算、他の先生との兼ね合いでフラットファイルを使用した。学習の集積物の組み直しを考えると本当はリングファイルが望ましい。

【図2 ファイルにはさむもの】

新しいものが上にくる。ファイルの一番下が①、上が学期中は④、学期末は⑤となる。

学期中

- ①ガイダンス資料→②漢字小テスト範囲表(1年生で習う漢字一覧)→③ふり返しカード
→④学習した順にワークシート・テストプリントなど(途中で定期テストのふり返りが2回分)

学期末(組み直し)

- ①ガイダンス資料→②漢字小テスト範囲表→③学習した教材順にとじ直す。→④漢字小テスト
→⑤ふり返しカード

学期末のとじ直し以後は、以下のふり返りカードが一番表にくる。

【図3 ふり返りカード(例)】

1年生国語1学期ふり返りカード
組 番 氏名

1 今までのふり返りとこれからがんばること (ガイダンス資料参照, 具体的に)

2 学習のふり返り 【評価：4=よい 3 2 1=よくない】

番	学習したこと	プリント	評価	ふり返り
1				
}				
35				

3 ワーク・ファイル提出 【評価は, ガイダンス資料参照】

提出物	月/日	評価	ふり返り
ワーク1回目			
ワーク2回目			
ファイル1回目			
ファイル2回目			

4 1学期の国語の授業を終えて (1で書いたこと参照)

級友から	[ファイルについて]
------	------------

保護者印	
------	--

→図1の評価の流れの番号

→①

→②

→⑤

→⑤

→⑥

4 アンケート結果

自己評価カードを中心としたファイルと教材ごとの評価であるまとめプリントの有効性を探るためにアンケートを実施した。結果は以下の通りである。

(1) ファイルについて (7月実施) 【よい 4 3 2 1】

①ファイルについて, プリントをしっかりと整理していますか。

4 19人 3 12人 2 1人 1 2人

②ファイルを試験前に見直しましたか。

4 7人 3 18人 2 6人 1 3人

③ファイルを試験勉強に役立てましたか。

4 14人 3 13人 2 4人 1 3人

④ファイルをしっかりと整理することは面倒ですか。(4は面倒でないという意見)

4 17人 3 11人 2 4人 1 2人

⑤ファイルをしっかりと整理することは大切だと思いますか。

4 26人 3 7人 2 0人 1 1人

ファイルについては、多くの生徒がプリントをしっかりと整理し、試験前も有効に活用している。整理することは面倒だと感じている生徒も少ない。また、整理することの大切さをほとんどの生徒が実感していることがわかる。

また、記述式の設問では、以下のような意見が出た。

「⑥ファイルをもっと使いやすく役立つようにするにはどうしたらよいと思いますか。」

- ・もらったプリントに少しでも自分の言葉(コメント)や大切なことを書き足す。
- ・毎日持ち帰って勉強する。
- ・テスト前にはしっかりとファイルを見ておくようにする。

というようなファイルの活用について触れたものが多く、

- ・とじたプリントなどの場所をわかるようにしたらよいと思う。
- ・見た目からきれいにする。
- ・プリントなどに日付を書く。

のように、形式的な面で使いやすくするような意見も見られた。

さらに、「⑦ふり返し用紙について、毎時間書くことで、よいことは何ですか。」については、

- ・整理をしやすくできる。
- ・その日、どんな学習をやったか思い出せる。
- ・毎時間の一言感想で自分の苦手なところや直したほうがよいことがすぐわかる。
- ・その日の授業の内容などがいつでもわかるので、テスト前などに見ておくと、どういった勉強をすればいいかがわかる。
- ・一日一日の授業の記録が出来る。

というような学習のふり返しに役立つという意見だけでなく、

- ・今日は出来なかったから今度はきちんとやろう、とか、次の目標を立てられる。

というように、次の学習に生かそうとする意識が見られた。

概ね前向きな意見が多かったが、改善点も出された。

「⑧ふり返し用紙について、改善が必要なことは何ですか。」については、

- ・一言感想を書くわくが小さい。
- ・月日を書けるようにした方がよい。

このように形式面のことが中心であった。

ふり返しカードが定期テストのふり返しにどのように生きているかという点については、以下のような記述が見られた。

「⑨定期テストのふり返しを書くときに、参考にしたものは何ですか。また、なぜ参考にしましたか。」

[ふり返しカード・ワークシート・テストプリント・ワーク・教科書・ノート]のうち、ふり返しカードに関連したものが34名中21人と多くを占めている。主な理由は以下の通りである。

- ・自分のそのときの気持ち、思ったことが素直に書いてあるから。
- ・いつ何の勉強をしたかを確かめるため、いろいろな学習内容が書いてあり、見やすかったので参考にしました。
- ・今までの授業でどんなことをテストに役立てたかを見られるから。
- ・自分がかいたことが記録されていて、それなどを参考にした。

ふり返しカードとワークシートを組み合わせたり、ふり返しカードを中心としつつ、他のものを参考にする生徒も見られた。

(2) まとめプリントについて (1回目 6月実施 2回目 7月実施)

次に教材のふり返りの中心であるまとめプリントについてのアンケートでは、①と②の比較からまとめプリントが

学習の定着に役立つことがわかる。

1) 一通り教科書に書き込みながらの学習を終えてからまとめプリントをすることについて

①まとめプリントをしなくても説明的文章の内容がわかりましたか。

1回目	4	6人	2回目	4	8人
	3	21人		3	14人
	2	5人		2	10人
	1	2人		1	2人

②まとめプリントをした方が内容はよくわかりましたか。

1回目	4	26人	2回目	4	22人
	3	4人		3	7人
	2	3人		2	3人
	1	1人		1	1人

③まとめプリントのよい点を書いてください。

1回目

- ・自分が理解できているのか確認できた。
- ・大事な言葉が太字になっているのでよい。
- ・テスト（勉強）に役立つ。
- ・今までの授業の分が1枚のプリントでわかる。
- ・大事なところがよくわかる。復習に役立つ。
- ・まとめプリントをする前よりも内容がわかるようになる。
- ・内容を整理することができる。

2回目

- ・本当に大事なところをまとめてあるのでやりがいがある。
- ・復習になる。
- ・内容をまとめてあるからわかりやすい。
- ・知っていたけど、そのことについてまた気づけることがある。
- ・答えにどう間違えたかわかるように解説があつてよかった。
- ・テスト前などに見直しが簡単。
- ・空欄を埋めるだけだからやりやすい。

以上から、まとめプリントで自信をもち、次への学習の意欲につながることをわかる。

5 研究の成果と課題

(1) 成果

本研究は、中学1年生1学期の国語科授業において、自分の授業に対する取組を見つめ、授業を大切にする生徒を育てるために、異なるサイクルの自己評価カードを中心に位置づけた学習記録の有効な活用について明らかにしようとするものであった。以下の2点を成果として挙げる。

① 授業計画を柔軟に組みやすい。

② 自分の授業を見つめ直すことの繰り返しが定着し、学習の集積物の大切さを実感することができる。

単元ごとに評価カードを作成すると、実践よりもかなり前に学習計画を立て、変更が難しい。詳しい評価はできないが、教材ごとの学習計画を生徒の状況によって変更しやすい。生徒の学習状況を見て、まとめプリントを導入することができた。また、単元ごとの評価カードよりも毎時間少しずつ自己評価を行っているため、抵抗感が少なく、かえってもっと書きたいという生徒が出てきた。学習の集積物がたまってきて、とじ直しをすると授業中の成果として目に見えた形になるため、自己評価とファイルにとじることの大切さを実感できた。

(2) 課題

課題としては、評価カードの形式的な面が挙げられる。生徒は、自分の学習が積み重なっていくと自己評価をしていくことに抵抗感は少なくなってきた、じっくりとふり返りをしたい、ファイルを充実したものにしたい、という気

持ちが出てくる。そこで、以下の2点を課題として挙げる。

①感じたことを書く欄を広くする。

A4版の評価カードをA3版にして二つ折りにしてファイルにとじる、など。

②評価カードや学習の集積物に月日を書く。

学習の記録として使いやすいようにするため。

中学1年生は、学習習慣を確立するために大切な時期である。今まで研究してきたことを積み重ねて、よりよいものにしていきたい。

引用・参考文献

- 1) 益地憲一 『国語科指導と評価の探求』 溪水社 2002年 P.10
- 2) 梶田叡一 『教育評価〔第2版補訂版〕』 有斐閣 2002年
- 3) 池村和重 『中学校の国語科授業における形成的評価の研究－評価カードの開発とその考察を通して－』 上越教育大学大学院修士論文 2004年
- 4) 大村はま 『大村はま国語教室 第12巻』 筑摩書房 1991年

【生徒の自己評価カード(例)】

1 年生国語 1 学期ふり返しカード
組 番 氏名

1 今までのふり返しとこれからがんばること(ガイダンス資料参照、具体的に)
 *漢字をきいに来いながら、た事がうまいかなかった。
 *教科書と辞書の時間がない漢字があり、うすうす読めなかった。
 *提出物の期限を守る。
 *問題を取りテストでよく聞いて、テストをする。(Xをせよ、たり)

2 学習のふり返し 【評価：4=よい 3 2 1=よくない】

番	学習したこと	プリント	評価	ふり返し
1	ガイダンス	ガイダンス資料	4	ガイダンスを元にして頑張りたい。
2	ガイダンス	漢字の読みカード	4	漢字の読みカードを参考にテストの練習頑張ろう。
3	海海	語彙の読みカード3枚	3	語彙の読みカードを知り、これから漢字の読みカードを参考にしたい。
4	言葉のしくみ(漢字のしくみ)	漢字のしくみ	4	漢字のしくみについて勉強したい。
5	漢字のしくみ	なし	4	漢字のしくみについて勉強したい。
6	読解(漢字のしくみ)	テストプリント(問題)	4	読解プリントに勉強したい。
7	音原(漢字のしくみ)	ワークシート	4	音原について勉強したい。
8	漢字のしくみ	漢字のしくみプリント	3	プリントがよかった。
9	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
10	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
11	漢字のしくみ	なし	3	漢字のしくみの使い方が分かった。
12	漢字のしくみ	なし	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
13	テスト返却	学習プリント	4	テストの直しをやり直したい。
14	テスト返却	自己評価シート	4	自分の学習の振り返りがしたい。
15	漢字のしくみ	なし	4	自分の学習の振り返りがしたい。
16	漢字のしくみ	なし	4	自分の学習の振り返りがしたい。
17	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
18	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
19	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
20	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
21	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
22	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
23	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
24	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
25	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
26	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
27	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
28	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
29	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
30	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
31	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
32	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
33	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
34	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。
35	漢字のしくみ	漢字のしくみ	4	漢字のしくみの使い方が分かった。

3 ワーク・ファイル提出 【評価は、ガイダンス資料参照】

提出物	月/日	評価	ふり返し
ワーク1回目	/	4	ワークの準備ができた。
ワーク2回目	/	4	ワークの準備ができた。
ファイル1回目	/	4	ファイルの準備ができた。
ファイル2回目	/	4	ファイルの準備ができた。

4 1学期の国語の授業を終えて(1で書いたこと参照)
 漢字のしくみについて勉強したい。
 提出期限を守りたい。
 私語を減らして授業に集中したい。

級友から [ファイルについて] コメントをください。コメントは匿名で、1週間以内で返信をお願いします。保護者印 